

本の帯創作コンにベルマーク賞創設

大阪府内の書店がマーク収集に協力

児童書を紹介する「帯」を小学生が自由な発想でデザインする「大阪子ども『本の帯創作コンクール』」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)に、今年からベルマーク賞が創設されました。これを機に大阪府内の約250の書店がベルマーク収集に協力することになりました。

本に巻かれた帯は、本の内容を読者にわかりやすくアピールするためのものです。コンクールでは、本を読んで感じたことを「帯」という作品に表現してもらいます。文章だけでなく絵やデザインも駆使できるため、読書感想文が苦手な子でも楽しく取り組みます。

課題図書と自由図書の2部門があります。課題図書の優秀作の一部は製品化され、本に装丁されて、主に大阪府内の書店で売られます。子どもの創造力を伸ばし、商品化を通じて社会性も育むユニークなコンクールです。

2005年に始まり、全国から作品を募集。昨年は12都府県の297校とパリの日本人学校1校から、計1万2841点の応募があり、優秀作9点が実際に本の帯となって流通しました。

ベルマーク賞の創設は、より多くの学校や子どもたち

にコンクールへ参加してもらおうと、大阪読書推進会とベルマーク財団などが協議して決めました。

今年も作品を募集中です。課題図書は低・中・高学年で各6冊。自由図書はコミック、辞典、事典、図鑑類を除きます。締め切りは9月3日(当日消印有効)。審査結果は11月に朝日新聞紙上で発表。同月10日に大阪府立中央図書館(東大阪市)で表彰式と作品展示会があります。詳しい応募要項は、大阪読書推進会の構成団体である府書店商業組合の公式サイトに掲載されています。

ベルマーク収集に協力する書店は府書店商業組合の加盟店。店頭でベルマーク回収箱を置き、来店者にマークを入れてもらいます。寄せられたマークは出版取次の4社を通じて随時とりまとめ、ベルマーク教育助成財団へ寄贈されます。「親子で書店へ足を運んでもらうきっかけにもなれば」と同組合の石尾義彦事務局長。加盟店のリストは組合公式サイトでご覧になれます。



本に装丁されて書店に並んだ昨年の優秀作

みなさんの想いがつまった素敵な作品をお待ちしています!



次代のベルマークは私たちが!

18歳三つ子と15歳妹の「4姉妹」がかごしまベルマーク運動推進の会代表に

震災で被災した学校や子どもたちの支援のため、熱心にベルマーク活動をしている「かごしまベルマーク運動推進の会」の代表が交代しました。ベルマーク大使を務める平嶺光子さんが、東日本大震災をきっかけに7年前に立ち上げた会ですが、次の代表は、18歳の三つ子と15歳の妹、という4姉妹。若い力にベルマーク運動の未来が託されました。

三つ子は、板坂菜々乃(いたさか・ななの)さん、麻菜華(まなか)さん、茉梨菜(まりな)さん。妹のありささんと4人で、6月9日から共同代表を務めています。平嶺さんも会の事務局に残り、今後の活動をサポートしていきます。

6月19日に鹿児島市で開かれたベルマーク運動説明会に平嶺さんと茉梨菜さんが出席し、会場で代表交代のあいさつをしました。茉梨菜さんがベルマーク運動に関わったのは、震災の翌年に被災地を訪問したことがき

かけだそう。何か被災地のためにできることはないか、と考えていたときに学校で配られた「ボランティア便り」で、この会のことを知りました。それ以来ずっと運動に関わり続けています。

説明会後にインタビューを受けた茉梨菜さんは、「代表に、と言われたときはびっくりしました。でも4人でいろいろアイデアを出しあって決めていきたい。まだ活動のことを知らない人は多いので、インスタグラムなどのSNSを使って若い人に広めていければ。会で集めるベルマークは、今は年間約4万点ですが、鹿児島市の人口と同じ60万を目指していきたい」と抱負を語ってくれました。

平嶺さんは「10代の視点で取り組めば、色々変わってくるはず。私は見守る側に。頑張る若い人を支える大人がいっぱいいる鹿児島であってほしい」とエールを送っていました。



かごしまベルマーク運動推進の会の新代表になった4姉妹。左から板坂ありささん、菜々乃さん、茉梨菜さん、麻菜華さん

ラッキーベルの介護シューズにベルマークを追加

協賛会社のラッキーベル(ベルマーク番号03)から発売中の介護シューズ「ユニートン」に新しくベルマークが付きしました。

「外出する際におしゃれで楽な靴を履きたい」という声に応じて作られたスニーカータイプで、歩きやすさを追求した作りになっています。片足約220gと軽く、クッション性の高いインソールで、長時間歩いても疲れにくいそうです。

見た目が普通のスニーカーのような「面ファスナータイプ(01)」と、脱ぎ履きしやすい「サイドファスナータイプ(02)」の2種類で、ネイビー・グレー・ブラックの3色。標準小売価格5,600円(税別)。ベルマーク56点が付きます。

同社ホームページからも購入できます。



リユースパーツのパンフいかが／自動車リサイクルのNGP

協賛会社のNGP日本自動車リサイクル事業協同組合(ベルマーク番号76)は、自動車のリユースパーツについての啓蒙パンフレットを、希望するベルマーク運動参加校にお送りすることにしました。

同組合は、5月にスタートした全国各地のベルマーク運動説明会のうち、24会場に参加していますが、事務局によると、一部の会場でアンケートをお願いしたところ、「環境にも優しくかつ安価で自動車修理が出来るならば是非リユースパーツを利用したい」「利用機会があれば是非使いたい」等の意見をいただいたそうです。

希望する学校はNGP協組の本部事務局(03-5475-1208、FAX03-5475-1209、ngphonbu@ngp.gr.jp)に連絡して下さい。



◎東芝ライフスタイルが電話番号変更

協賛会社の東芝ライフスタイル(ベルマーク番号43)の問い合わせ電話番号が7月1日から044-577-0142に変わりました。いまのベルマーク手帳に載っている旧番号の044-331-7299にかけると、番号が変わった旨のアナウンスが流れます。ご注意ください。

◎ベルマーク財団理事に尾木ママ

ベルマーク財団の新理事に、教育評論家で法政大学特任教授の尾木直樹さんが就任しました。尾木さんは、2003年から理事を務めていた川淵三郎・日本サッカー協会最高顧問が退任したのに伴い、その後任として選ばれました。財団の理事は9人で、今回は尾木さんを含めて3人が新理事に就任しました。詳細は財団HPでご確認ください。

◎財団見学

7月4日、クラブツーリズム埼玉旅行センターの「エコスタッフ」19人。同社の財団見学は2月の千葉旅行センターのスタッフに続き今年2回目。